

平成27年

第5回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成27年12月 1日

平成27年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

## 【教育指導課】

### ◇ジュニアオリンピック出場について

9月6日に、鹿角市総合運動公園総合競技場で行われた「平成27年度秋田県中学校陸上競技記録会第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会秋田県選手選考会」で、神代中学校3年の工藤壮(たけし)さんが、「共通男子ジャベリックスロー」という種目で52m29cmを投げ、優勝しました。

ジャベリックスローという種目は、やり投げの小中学生版種目で、工藤さんはジュニアオリンピック陸上競技大会の参加標準記録40mを突破しており、10月23日から25日に横浜市の日産スタジアムで行われた「第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会」に出場しました。なお、秋田県選考会では、同じ神代中学校3年の藤井駿矢(しゅんや)さんが、ジャベリックスローで47m58cmを記録して準優勝、同じく藤井誠弥(せいや)さんが、「共通男子円盤投」で25m92cmで第3位に入賞しております。

### ◇「仙北市学校警察連絡連携制度」に関する協定書の締結について

9月16日に、仙北市教育委員会教育長と仙北警察署長の間で、「仙北市学校警察連絡連携制度」に関する協定書を締結しました。

この協定書は、児童生徒の非行防止及び犯罪被害防止に係る相互連携について定めたもので、教育委員会・学校と警察署が連携を密にして、様々な事案に対応することで、児童生徒への効果的な指導及び健全育成に資することを目的に締結されたものです。

協定書には、連携の内容や連絡責任者、相互連絡の対象事案、方法等が規定されており、今後、効果を発揮することが期待されます。

#### ◇秋田県中学校英語暗唱弁論大会優勝について

9月15日に、秋田県生涯学習センターで、秋田県中学校英語暗唱弁論大会が行われ、角館中学校3年の戸澤彩(あや)さんが弁論の部で見事優勝しました。弁論題は、「International Understanding and Peace ～国際理解と平和～」で、弁論の内容・表現力ともにすばらしく、高い評価を得ました。

戸澤さんは、11月25日～27日に行われた「高円宮杯第67回全日本中学校英語弁論大会」に秋田県代表として出場しました。素晴らしい弁論で見事に予選を突破し「よみうり大手町ホール」で行われた決勝に進出するなど大活躍しました。

#### ◇東北交通栄誉賞受賞について

神代小学校が、東北管区警察局長と東北交通安全協会長から「東北交通栄誉賞」をいただきました。9月21日の秋の交通安全運動初日に、角館樺細工伝承館で行われた交通安全祈願祭に先立って表彰状が伝達されました。

神代小学校は、ほかにも交通安全優良学校の推薦を受けており、これまで学校で行ってきた交通安全教育はもちろん、これを支えてくださった地域の皆様のご支援と、仙北警察署や交通安全協会等の関係機関のご協力のたまものと受け止めております。

#### ◇市内小・中学校の給食に地元産マイタケ提供について

10月1日と2日、市内の小・中学校10校の給食で、地元産の「原木マイタケ」が振る舞われました。

このマイタケは、白岩地域運営体(菅原秀俊会長)が栽培したもので、26kgが提供されました。田沢湖・西木学校給食センターでは、マイタケ入り芋の子汁、角館学校給食センターでは、1日にマイタケうどん、2日はマイタケ入り芋の子汁として調理され、各学校の児童生徒は、地元で栽培された安心・安全なマイタケを笑顔いっぱい味わっていました。今回のメニューでは、マイタケの

ほかに、地元産の芋の子も各給食センターで提供されております。

各給食センターでは、地元産給食食材の使用率向上に取り組んでおりますが、白岩地域運営体のマイタケのように、地元産で2,000食以上の給食食材を確保できるのは、非常にうれしいことで、今後も安全な地元産食材を、安心して食べられるよう食材確保に努めて参りたいと思います。

#### ◇角館中学校公開研究会について

10月23日に、角館中学校で文部科学省委託「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」協力校自主公開研究大会が行われました。この研究大会は、平成27年度の仙北市教育研究会研究大会を兼ねており、義務教育課指導主事や南教育事務所仙北出張所長をはじめ、多くのご来賓と200人を超える参会者を迎えて行われました。一般参加者の中には、遠く佐賀県や静岡県からの参加者もあり、分科会における研究協議でも熱心な意見交換が行われました。

義務教育課による指導講評では、本校や本市で行われている研究が機能的な共同研究であること、また、今後、全国的に求められていく授業に重なる、先駆的な取り組みであるとの高い評価をいただきました。

#### ◇西明寺小学校の齋藤憲三・山崎貞一賞受賞について

11月15日に、国立大学法人秋田大学で行われた、「第50回秋田県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表会」で、西明寺小学校の「くりっこサイエンスクラブ」が、最高賞に当たる齋藤憲三(さいとうけんぞう)・山崎貞一(やまざきていいち)賞を2年連続で受賞しました。発表題は、「金属輪を熱するとその内径が大きくなるのはどうしてだろうか」で、小学校部門での大曲仙北からの受賞は、西明寺小学校だけでした。科学研究に対する顕彰としては、最も歴史と権威のある賞を受賞できたことは、本市の理科教育のレベルの高

さを内外に示すものであり、今後も理科専門監の活用を図りながら、児童生徒の理科や科学に対する興味・関心を高め、探求的な学習を推進して参ります。

#### ◇中学校全県新人大会の活躍について

○11月14日に、県営陸上競技場周回コースで行われた、「第5回秋田県中学校新人駅伝競走大会」で、角館中学校男子Aチームが51分14秒の記録で47チーム中、見事、準優勝を果たしました。特に、4区を走った2年の高橋太陽(たいよう)さんは、3kmを10分24秒の好記録で走破して区間賞を受賞しました。

○11月14日と15日に、秋田県立体育館で行われた、秋田県中学校秋季卓球大会で、神代中学校が団体で見事3位入賞を果たしました。神代中学校卓球部は、予選リーグを3戦全勝で1位通過し、決勝トーナメント1回戦で天王中に3-0、準々決勝では山王中に3-1で勝利し、桜中との準決勝では、惜しくも1-3で敗れましたが、第3位という見事な結果を収めました。

○11月14日と15日に、秋田県立武道館で行われた、秋田県中学校秋季柔道大会で、角館中学校1年の松本唯(ゆい)さんが、女子個人57kg級で優勝し、神代中学校2年の藤村飛翔(あすか)さんが、男子90kg級で第3位に入賞しました。

#### ◇神代小学校の文部科学大臣表彰について

11月16日、神代小学校が「キャリア教育優良学校」として、文部科学大臣表彰の受賞が決定しました。

神代小学校が、これまで地域運営体や活性化協議会など、地域住民や、保護者との連携を基盤として、特色あるキャリア教育を推進してきたことが受賞理由であります。

本校では、子どもたちが大根を栽培し、地域の漬物名人と一

緒に、イブリガッコに加工するだけでなく、それを修学旅行先である八戸市の八食センターで販売するなどの体験活動を行っています。また、市の産業祭では、商人塾としてキッズマートの取り組みなども行っています。これらの活動は、キャリア教育の目指す望ましい勤労観や職業観の育成に結びつくという高い評価であり、今後も一層の活動の充実を期待したいと思います。

#### ◇角館小学校中間公開研究会について

11月17日に、角館小学校で国立教育政策研究所指定事業「教育課程研究指定校事業」小学校・特別活動の中間公開研究会が開催され、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官から指導と講演をいただきました。

この研究会は、平成27年度と28年度の2年間の指定事業で、今回の中間公開研究会では、公開授業と分科会での協議で、成果と課題の整理が行われました。特に評価を受けたのは、自校の児童の実態に応じた組織的・計画的な研究への取り組みと、話し合い活動で、積極的に意見を発表するたくさんの子ども達の姿でした。

市教育委員会といたしましては、今後も指導主事の支援等を充実させ、来年度の本公開に向けた取り組みを促進させて参ります。

#### 【生涯学習課】

#### ◇花のある街づくりコンクールについて

昨年度から実施しております「花のある街づくりコンクール」は、個人・団体・企業の部門毎に、地植え、プランターの部に分けて募集を行ない、昨年と同じ26件の応募がありました。市の生涯学習奨励員が審査にあたり、すべての花壇を訪問審査のうえ、最優秀賞をはじめとする各賞を決定いたしました。表彰式は、10月31日の「市制10周年記念仙北市文化祭」開会式に、生保内体育館において開催し、3個人、3団体、3企業の受賞者にご出席いただき、賞状の授与を行いました。

今後も花づくりを通して、人々の心の豊かさを育み、交流の場の拡大と市全体が花に彩られた街になることを目指して、事業を推進して参ります。

#### ◇平福百穂顕彰短歌大会について

10月18日、角館樺細工伝承館を会場に「平福百穂顕彰短歌大会」が開催されました。これは、昨年国民文化祭で市主催事業として行われた、「田沢湖・角館短歌大会」の継続事業として開催されたものです。

この大会には、県内外から一般の部に228首(人)、中学校・高等学校の部に397首(人)の応募があり、作品集も刊行されて、国民文化祭の継続事業としての成果が十分に見えた大会となりました。表彰式に先立って行われた、日本歌人クラブ中央幹事である沢口芙美先生の「平福百穂とアララギの歌人達」と題した講演会には、100人を越える参加者があり、熱心に耳を傾けておりました。

平福百穂顕彰短歌大会実行委員会では、今後も開催を予定しており、引き続き支援をして参ります。

#### ◇市制10周年記念仙北市文化祭について

市の文化祭については、これまで各公民館を主体として、三地区毎に開催してきましたが、今年度は、市制10周年を記念し、10月31日と11月1日に、生保内市民体育館と武道館、市民会館を会場に、三地区合同で開催しました。作品展示、ステージ発表、体験コーナーなど、盛りだくさんの華やかな文化祭となりました。

作品展示には、市民の皆さんが日ごろから取り組んでいる絵画や書、写真、短歌、俳句、陶芸等をはじめ、パッチワークや編み物などの手芸作品も多数展示されました。展示された作品数は、1,100点以上におよび、出展者も延べ260人を越える、大変見応えのある素晴らしい作品展示となりました。また、市民会館ステージでは、延べ160人の皆さんが民謡や舞踊、大正琴、コーラス、太極拳など

の発表を行い、多くの方々が観覧に訪れ楽しんでくださいました。

体験コーナーでは、イタヤ細工やフェルトのハートづくり、石けんを使った手作り体験も行われました。

多様なジャンルで精力的に生涯学習に取り組み、その成果を披露してくださった皆様に、心から感謝申し上げたいと思います。

## 【角館公民館】

### ◇秋田県公民館大会について

10月16日、市民会館を会場に、第65回秋田県公民館大会兼第55回秋田県仙北地域公民館大会・大仙仙北地区生涯学習推進研究大会を開催しました。県内各地から500人ほどの公民館や生涯学習奨励員などの関係者が参加いたしました。

全県から4人の事例発表があり、中でも本市の三公民館の多岐に渡る活動事例の発表には、会場から大きな拍手が送られました。

また、「五城目のトメさん」こと小玉進氏の基調講演は、大会テーマである「魅力ある地域づくりと笑い」にふさわしいユーモア溢れる講話で、活況に満ちた大会となりました。

## 【西木公民館】

### ◇西木駅伝競走大会について

第50回目を迎えた西木駅伝競走大会が、10月11日に紙風船館前をスタートし、西木庁舎をゴールとする10区間、25kmで開催されました。一般15チーム、中学生7チームの220人の選手が参加した大会には、交通指導隊や交通安全協会、中継点役員などに、市職員や一般ボランティア180人がスタッフとして協力してくれました。

あいにくのいたずら雨でしたが、これまで欠場していたチームも再結成して参加するなど、最後の大会にふさわしく、盛大に開催することが出来ました。

西木の秋の風物詩だった駅伝競走大会は、今大会をもって50年

の歴史に幕を閉じることになりました。大会を目前にして急逝された故大牧徳二郎元会長に哀悼の意を捧げますとともに、永年大会にご尽力いただいた皆さん、応援していただいた方々に心から感謝申し上げたいと思います。

## 【市民会館】

### ◇生保内節全国大会について

9月22日と23日に、仙北市市制10周年記念第30回生保内節全国大会が開催され、一般の部に124人、年少者の部に32人の計156人が、日ごろ鍛えた自慢の喉を競い合いました。

一般の部の優勝は、浜口優花(はまぐちゆか:大仙市)さんで、内閣総理大臣賞を受賞。年少者の部の優勝は、澤木美晴(さわきみはる:男鹿市)さんで、文部科学大臣賞を受賞、元唄最優秀賞は、愛知県名古屋市から参加した半戸加代子(はんどかよこ)さんが受賞しました。

また、30回大会を記念し、歴代優勝者の名入り提灯の点灯式も行なわれ、初代チャンピオンの加藤喜美雄(かとうきみお:仙北市)さんをはじめ、18人の歴代優勝者にご出席いただきました。併せて大会功労者への感謝状が9人と3団体に贈られました。

生保内節全国大会は、県内の民謡大会としては、最大規模の大会であり、郷土芸能の保存発展のためにも、今後も末長く継承していきたいと思います。

### ◇由紀さおり・安田祥子「手づくり学校コンサート」について

11月9日に、市民会館において市内中学生を対象に、由紀さおり・安田祥子「手作り学校コンサート」が開催され、市内中学生620人をはじめ、引率教員、保護者など800人余りが鑑賞しました。

日本語の言葉とリズム、響きを大事にしましょうとおっしゃるお二人の歌声は、本当に素晴らしく、中学生にも興味深い話題を交えながらのトークも巧みで、鑑賞した生徒や保護者にも大好評のコンサート

でした。

今後も優れた芸術鑑賞の機会を提供できるよう工夫して参りたいと思います。

## 【田沢湖図書館】

### ◇朗読コンサートについて

今年で5回目となる朗読コンサートは、「秋から冬へ 心に染み入る物語」と題し、11月20日に開催しました。

絵本1話と昔話2話の朗読をメインに、クラリネット演奏やピアノ伴奏と歌によるミニコンサートを、40人ほどの皆さんに楽しんでいただきました。

本や情報を提供するだけの図書館ではなく、日常のなかで心安らぎ、良い環境で良書に親しんでもらうため、今後も多面的な企画や展示を実施して参ります。

### ◇クリスマス・コンサートについて

図書館へ足を運んでもらい、親しんでもらうための楽しい「クリスマス・コンサート」を、12月22日(火)に開催いたします。

ロビーコンサートは、3回目となりますが、今回は、「武満徹をうたう」、「クリスマスソングinジャズ」、「おしゃれでたのしいクリスマスソング」をお届けいたしますので、皆様のご来館をお待ちしております。

## 【学習資料館・イベント交流館】

### ◇文化講演会について

10月27日、角館図書館後援会主催の文化講演会が樺細工伝承館を会場に行われました。昨年、角館図書館後援会が50周年を迎えたことを記念して、俳人の黛まどか氏を講師にお迎えし、「引き算の美学～俳句を通して見る日本人の美意識と美德」と題した講演をしていただきました。

日本の俳句と外国の俳句を比較しながら、引き算の美学としての日本の俳句の素晴らしさを丁寧に分かりやすく、語りかける口調で話されました。最後に、東日本大震災で被災した人たちの俳句を朗読しながら、その短いことばの余白に隠された様々な思いについて解説していただきました。

終始、講師の話や、人となりに魅了された約150人の聴講者からは、これを機会にぜひ俳句に挑戦したいという声が多数聞かれました。

#### ◇三館合同企画・仙北市市制10周年記念事業「平福百穂とアララギ歌人展」－秋田県立角館高等学校創立90周年記念－について

新潮社記念文学館では、9月1日から11月3日まで、日本近代文学館、諏訪湖博物館・赤彦記念館、斎藤茂吉記念館、秋田県立角館高等学校のご協力をいただき、「校歌若杉とアララギ歌人茂吉と赤彦展」を開催し、1,162人の来場者がありました。

来場者は、旧制角館中学校の創立に尽力した、平福百穂を始めとするアララギ歌人のストーリーに触れ、校歌作詞の中心となった島木赤彦と斎藤茂吉の展示資料に、さらなる興味を深めたようでした。また、ミニシアターで上映している「百穂とアララギの人びと」が非常にわかりやすいと好評でした。

#### ◇千葉治平と田沢湖展について

新潮社記念文学館では、11月10日から来年4月10日まで「千葉治平と田沢湖展－詩人の魂と科学者の眼で－」を開催しています。故郷の田沢湖を生涯愛した直木賞作家・千葉治平の作品を紹介し、特に田沢湖を舞台とした作品「山の湖の物語」を中心に展示しております。期間中、多くの皆様にご来場いただき、郷土が生んだ偉大な作家の足跡を辿っていただきたいと思います。

## 【スポーツ振興課】

### ◇モーグル競技会の開催について

全日本スキー連盟A級公認の2016フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が、来年2月6日と7日に田沢湖スキー場の黒森山コースで開催されます。モーグル競技とデュアルモーグル競技の2種目が、ワールドカップ出場への選考競技会の一つとなる予定です。

今年度は、ジャッジハウスもまもなく完成予定です。また、秋田県内のモーグル競技審判員も3人誕生しており、ワールドカップ前の大会から、経験を積んでいただければと期待しております。

また、本年度は、2016FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわこ大会を含む、モーグル競技2大会のほか、東北中学校体育大会第52回東北中学校スキー大会クロスカントリー競技、第40回全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会、第58回東日本医科学生総合体育大会スキー競技会など、大きな大会が開催される予定であり、万全の準備態勢を整えて臨みたいと思います。

### ◇仙北市出身選手のボート競技での活躍について

生保内中学校出身の倉橋正斗さん(雫石高校3年)が、ペアでボートを漕ぐダブルスカル競技で大活躍しています。

今年3月、静岡県で開催された全国高等学校選抜ボート大会で第4位、8月に兵庫県で開催された全国高校総合体育大会(インターハイ)で準優勝、9月の紀の国わかやま国体で第5位の成績を収め、全国トップレベルの選手たちと力と技を競っています。

倉橋さんは、高校入学後にボート競技を始め、厳しい練習を積み重ねながら、際立つ力を身に付けてきました。

高校卒業後もボート競技を続けるとのことであり、今後の活躍に期待したいと思います。

## 【文化財課】

### ◇多目的広場北側黒板塀修復について

10月2日、伝承館向かいの多目的広場北側の黒板塀（長さ約18m、高さ約2m）が、寒冷前線の影響による強風で、桁形のある道路側に倒壊しました。南からの強風が、黒板塀の支えが少なかった北側を直撃した状況でした。

通報を受け、ただちに道路敷に倒れている黒板塀を片付け、安全対策を施した後、文化庁等の関係部署に報告しました。

紅葉が見ごろで、観光客が非常に多い時期でもあることから、早急に復旧作業を行い、10月26日に修復を完了しております。

### ◇「角館のお祭り」の保存と継承シンポジウムについて

11月15日に、角館交流センターにおいて、角館のお祭りの保存継承と地域活性化実行委員会の主催による「角館のお祭り」の保存と継承シンポジウムが開催され、300人ほどのご参加をいただきました。

開演に先立ち、昭和30年代から最近のものまでを構成した祭りの貴重な記録映像を上映し、その後、パネルディスカッションへと移行しました。今回のテーマである「角館のお祭り」の保存と継承について、参加いただいた「土崎港曳山まつり」や「花輪ばやし」なども参考にし、様々な角度から情報交換を行いました。パネラーからは、時代が変わっていく中で、次の世代へつなげていくことの難しさもあるが、いま一度、祭りの由来、起源、意義など、祭りの本質を守る大切さも欠かせないなどの様々なご意見をいただきました。

最後に、「土崎神明社祭の曳山行事」、「花輪祭の屋台行事」、そして「角館祭りのやま行事」の三行事による伝統芸能の競演が行われ、昨年国民文化祭を再現したような華やかな演奏に、参加者からは惜しめない拍手が送られました。

この三行事が含まれている全国32の「山・鉾・屋台行事」が、来年のユネスコ世界文化遺産登録に認定されることを心から祈念し、閉会いたしました。

#### ◇金峰神社仁王門の修理工事竣工について

市指定文化財の「金峰神社仁王門」について、痛みの著しかった屋根や基礎部分を中心に、7月から修理工事を行っておりましたが、11月15日に完成し、23日に、神社の秋祭りと併せて、仁王門修理事業竣工奉告祭が催されました。

総工事費は約500万円で、今後、実績報告書を精査したうえ、市指定文化財の修理に係る補助金の限度額である200万円を助成する予定です。

#### ◇仙北市史跡巡りについて

昨年のもんや城・古堀田城史跡巡りに続く第2弾として、11月21日に、戸沢氏が居住していた角館城(古城山)を大手口の田沢湖小松側から散策する企画をしたところ、25人の募集定員がすぐ満員となり、予想を上回る史跡人気を感じられました。

講師には、昨年と同じく元秋田県教育庁文化財保護室長の大野憲司氏にお願いし、秋晴れの中、角館城の山並み散策を楽しんでいただきました。この城は、敵から身を守るための大型の切岸(きりぎし)や、二重枡形など、独自の工夫や対策が施されており、国指定史跡の能代の桧山城や、男鹿の脇本城に匹敵する、中世の代表的な城であるとの説明を受け、参加者も感慨深げの様子でした。

今後も史跡を介して、地域の良さや特徴を紹介できる研修会などを企画して参りたいと思います。

#### ◇田沢湖郷土史料館並びに武家屋敷公開事業の冬期閉館について

4月20日から公開して参りました田沢湖郷土史料館が、11月10日で冬期の閉館に入りました。松本家も同日で公開を終

了し、武家屋敷公開事業の岩橋家と河原田家、小田野家については、11月30日で公開を終了しました。

なお、岩橋家は、かくのだて歴史案内人による「冬がたり」が、12月から3月までの毎週金・土・日・祝日等に、一日2回開催される予定です。

### 【平福記念美術館】

#### ◇平福百穂とアララギ歌人展（画業）について

9月1日から10月4日まで、角館町平福記念美術館、新潮社記念文学館、角館樺細工伝承館の三館合同企画展「平福百穂とアララギ歌人展」が、仙北市市制10周年記念事業として開催されました。

平福記念美術館では、サブタイトルに「平福百穂の画業展」と銘打ち、旧制角館中学校（現角館高等学校）開学の先頭に立って尽力した、平福百穂の秋田を題材とした作品や、アララギの歌風で描いた作品を出展しました。

期間中の入館者は836人で、当時の中央画壇をリードした百穂の画業を、ご堪能していただきました。

#### ◇佐藤元彦日本画展について

10月10日から11月23日まで、「佐藤元彦日本画展－歩んだ故郷での個展－」を開催いたしました。

佐藤元彦氏は、昭和14年、函館市に生まれたのち、角館町に移り、角館高校を卒業後、多摩美術大学日本画科に学びました。多くの作品を院展に入選させ、日本美術院院友、特待に推挙され、現在も精力的に作品を描き続けておられます。

これまで先生が院展で発表された作品を中心に、秋田の美しい自然や、風物、生き物、また海外を取材された際に描かれた風景等の作品を、県内外問わず多くの方に楽しんでいただくことができました。期間中の入館者は、1,800人となっております。

#### ◇児童生徒県南美術展について

12月5日から来年1月28日まで、「児童生徒県南美術展」を開催いたします。

今回で38回目を迎える伝統ある美術展で、作品が展示された生徒とそのご家族、関係者に大変喜ばれております。11月28日には、審査委員長を依頼した秋田大学名誉教授の佐々木良三氏をはじめとする審査会を開催し、入賞作品を決定しております。

子供たちが一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。